

2022年10月8(土)・9(日)

栗駒山 (1,626 m) 安達太良山 (1,728 m)

～Report by 高橋(雄)～

栗駒山、今年は9月25日(日)に能勢さん、服部さんと私の3人で登ったが、紅葉が遅れており、ピークにはまだまだ早かった。私はなんとしてもピークの紅葉を撮りたい！と思っていて、2020年、2021年ともそれぞれ2回登っているが、ピークと思われた時でも、ガスって十分に満足できる写真を撮るには至っていない。

また、安達太良山も紅葉で有名で、今まで何回も登っているが、雨で視界不良だったり、ピークを過ぎていたりして、山全体の紅葉写真を撮ることはできていない。

そこで今回は栗駒山の帰りに安達太良山にも登るという、紅葉の二兎を追う作戦を企てた。

天気図と紅葉情報、「てんきとくらす」をにらめっこしながら、ベストタイミングを探っていたが、最終的に10月8・9日が両山ともに「てんきとくらす」の登山指数Aとなつたので決行を決断し、クマさん会のLINEで10月5日に案内した。直前ではあったが、池戸さんが参加してくれることになり、二人で行ってきた。

10月8日(土)

栗駒山へのアクセスは、東北新幹線のくりこま高原駅9:25発のバス、「紅葉号」を利用する。

それに間に合う新幹線はくりこま高原に9:12着の「はやぶさ101号」だ。前回の9月25日には余裕で席が予約できたが、今回は8日から始まる3連休の初日で、直前の申し込みでは満席となっていた。やむなく20分前の「はやぶさ51号」で出発。しかしこの列車はくりこま高原には停車しないため、仙台で一旦下車。後から来た「はやぶさ101号」に、仙台までの客が下りた後に乗り継いだ。



9:12 くりこま高原駅に定刻で到着。
くりこま高原駅からバス「紅葉号」に乗車。
前回の9月25日は3台で出発したが、今回は9台！ 待機していたバスが全部だ。
しかも前回は1台のバスに乗客は20人ぐらいで、席に余裕があったが、今回は35人で満席。
総勢300人以上が栗駒山宮城県側登山口の「いわかがみ平」に向かった。



9:50 いわかがみ平着。
定刻より15分遅れ。
9台も連なると、途中の温泉バス停で、引き込み道が狭く、すれ違いができないため、全台数揃うまで待っていたりして時間がかかっていた。
これまで定刻に着いたことがない。
今後の計画時には考慮必要。



一斉に登り始める行列。



いわかがみ平（1116m）は紅葉が見ごろ。
ウェザーニュースの 9/23 時点の予測通り。



準備を整えて定番位置でスタート写真。
前回よりドウダンツツジ、ナナカマドが赤い。



11:00 登山開始。
クマ出没注意の看板 (*_*;。
石畳の急登だ。



右手に見える東栗駒山方面。紅葉しているようだ。

こちらを通るコースもあるが、悪路で昨日までの雨でぬかるんでいるはずで、渡渉箇所も増水していると思われ、選択せず、無難な中央コースを進んだ。

青空にいろいろな紅葉が映えて目を楽しませてくれる。



ハウチワカエデ



ヤマウルシ



マルバノキ



ナナカマド



オオカメノキ



ドウダンツツジ



ハウチワカエデ



11:50 登り行程 3/5 ほどの地点。
標高 1400m ぐらいか。
石畳の樹林帯を抜け、山頂や手前の神の絨
毯が見通せる。



さて、期待した神の絨毯は？
あれ？セピア色・・・

前回 2 週間前はまだ緑が多く、その時に登
った服部さんは「赤が足りない・・・」とつぶ
やいたものだが、今回も「赤が足りない！」



残念ながら見ごろを過ぎていた。
神の絨毯を演出する赤や黄のミネカエデの
葉は、強風で吹き飛ばされたか、ほとんど残
っていない。
見ごろは 1 週間前の 10 月 1 日ぐらいだつ
たのか？



なんとか残っていたミネカエデの葉。



ナナカマドも実は残っているが葉がない。

紅葉のピークは過ぎて落葉してはいたものの、池戸さんは過去2回このルートで登っているが、2回ともガスつよく見られなかったとのことで、今回このように全体が見られたことに感激してくれていたのは救いである。



←ご参考：レストランに飾ってあった紅葉ピーク時の写真。

何としてもこのような写真を撮りたい！と思うのは私だけ？



かろうじて色のある部分。



草紅葉は見ごろ。



←12:35 山頂着。

↓焼酎のお茶割で乾杯。昼食。



12:57 下山開始。



14:10 いわかがみ平着。

バスの時間まで 55 分ある。レストハウスに飾ってある写真をバックに乾杯し、しばしまったり。

15:05 いわかがみ平からバス「紅葉号」で戻った。くりこま高原駅 16:25 着。(5 分遅れ)

くりこま高原駅からは、今夜の宿・二本松の岳温泉まで、以下の如く新幹線と東北本線とバスを乗り継いで行く。

16:58 くりこま高原 = (はやぶさ 110 号) = 17:21 仙台 17:25 = (やまびこ 152 号) = 17:47 福島 18:13 = (東北本線) = 18:35 二本松 19:18 = (バス) = 19:43 岳温泉

しかし、仙台で「はやぶさ 110 号」から「やまびこ 152 号」に乗り換える時、てっきり「やまびこ 152 号」は「はやぶさ 110 号」が到着したホームの反対側に止まっていて、それに乗り移ればいいと思っていたのだが、反対側に止まっていたのは、なんと回送列車！ 「やまびこ 152 号」ではなかった！

乗るべき「やまびこ 152 号」は別のホームから発車することまでは調べておらず、それがわかった時には「やまびこ 152 号」は別のホームから発車してしまっていた！ なにしろ乗り替え時間はたったの 4 分。

しかたがないので、改めて調べたら、次のやまびこは 154 号で、17:43 仙台発で福島着 18:09。

福島で乗り継ぐ東北本線の列車は福島発 18:13。よし、これも乗換時間 4 分しかないが、ぎりぎり間に合う！ と安堵して「やまびこ 154 号」で福島に向かった。

で、「やまびこ 154 号」でいよいよ福島に着くという段階になって、真っ先に降りるべくドアのところで待機していたのだが・・・今度は「やまびこ 154 号」が福島駅の手前で止まってしまった。

「ホームに入線待ち」とのアナウンスが流れた。やきもきしていたが、ほどなく動いて福島駅に到着した。

しかし、2 分遅れ。残り 2 分で乗り換えなければならない。

新幹線から東北本線への乗り換え通路を猛ダッシュ！ しかしこれが長い！ 東北本線ホームに降りるエレベーターはすぐには乗れず、焦って階段に回った。

東北本線のホームに着いた時には、18:13 発の列車は発車した後で、またしても間に合わなかった。

次の東北本線上りの 18:45 発に乗車、二本松 19:07 着。二本松から岳温泉行きの最終バスは 19:18 発。

結局バスには間に合った。

しかし、岳温泉のバス停から宿まで歩く時間が読めず、さらに遅くなる可能性もあるので、タクシーで直接宿に向かった。(3900 円・バスだと 500 円)

19:35 岳温泉の宿、ホテルパラダイスヒルズ着。<https://parahill-nihonmatsu.com/>



温泉に浸かって
20:30 夕食。

宿泊料金は一泊朝食付きだと 10,150 円、一泊二食で 17,150 円。夕食は 7,000 円相当だ。

先付	秋刀魚のレモン味め
前菜	蒸し鶏の胡麻ソース
	紅茶漬け
	鳥城の辛子味噌
刺身	お造り四点盛り
	鰯刺身
	甘海老
	靖鰐
蒸し物	鱈の養老蒸し
焼き物	帆立のバター焼き
揚げ物	野菜の肉巻き天麩羅
調味料	牛すき焼き
白飯	
味噌汁	
食事	
水菓子	
あだたら温泉	
ホテルパラダイスヒルズ	
黒胡麻プリン	
ご承まりがれ 承下され 承更により 下さいませ。 下さる場合 今が御座います	



前菜



すき焼き



天麩羅



蒸し物

完食して 21:30 就寝。

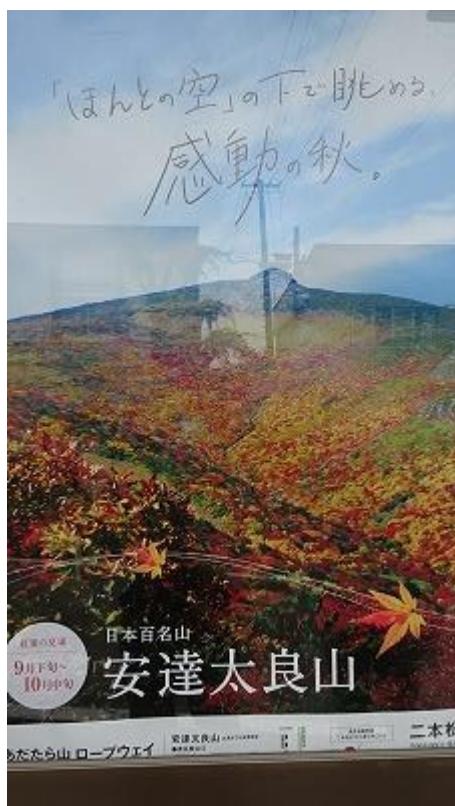
10月9日(日)

6:00 起床、朝風呂に入つて



7:00 朝食。これも盛り沢山。湯豆腐もある。当然完食。

私の山登りの目的の一つは体重減らしだが、昨夜と今朝の食事を完食した効果で、帰つて体重を量つたら、1.5kg も増えていた。(T_T)



←ホテルに貼つてあつた安達太良山のポスター。

「ほんとの空の下で眺める
感動の秋」

今日はこれを見たい！

8:10 ホテルを出て温泉街をぶらぶら。岳温泉の看板でパチリ。→上空は曇り。



8:45 岳温泉からバスで奥岳に向かう。

このバスは二本松からの直通便。すでに立つてゐる人も大勢の超満員で岳温泉に到着。さらに詰めてもらつて何とか乗り込んだ。ぎゅうぎゅうの立つた状態で山道のカーブで揺られていく。



9:05 奥岳着。ロープウェイは長蛇の列。



9:17 ロープウェイ発。
上の方はガスっている。
でも「てんきとくらす」の登山指数はA。
そのうち晴れるか？



山頂駅について、準備を整え、
9:36 歩行スタート。



ヤマウルシが紅葉していた。



9:40 薬師岳展望台。ガスって視界不良。
晴れていれば宿のポスターにあった山頂方面
の紅葉↓が見える場所だ。残念・・・





待っていても晴れるとは思えず、とりあえず山頂をめざす。

今日の「この上のほんとの空」は
「安達太良ブルー」ではなく「灰色」。



真っ赤なヤマウルシ



黄色いカエデ



オレンジのカエデ

紅葉は見ごろになっている。

これで空が青ければベストタイミングか。

今朝まで雨だったので、周りは濡れており、登山道はところどころぬかるんでいる。



紅葉、黄葉をバックに写真を撮りながら登っていく。



三連休の中日とあって登山者は多い。狭い登山道には時々行列ができる。時間が経つにつれ、下山者も増えてきて、すれ違いが容易ではなくなってきた。登山ペースはどんどんスローダウン。

10:25 登り行程の3/5程、仙女平への分岐からちょっと上がった地点でとうとう進まなくなってしまった。
下山者が延々と続き、とぎれない。降りてきた人に聞いたら、この先山頂まで大渋滞で、山頂までは2時間ぐらいかかるかもしれないとのこと。

池戸さんも私も安達太良山は何度も来ており、山頂に未練はないし、天気も晴れそうもない。
あっさり登頂をあきらめ、即引き返した。

11:15 ロープウェイで降りて、11:25 奥岳の湯。

奥岳の湯は、まだ時間が早いので入り口の靴の洗い場には誰もおらず、靴の泥をきれいに流して入った。
中のロッカーも半分ぐらいは空いていて、余裕でお湯に浸かった。

12:10 奥岳の湯を出たが、その時には団体客がどっと入ってきた。

12:20 バスで奥岳発=12:40 岳温泉 12:50=バス=13:14 二本松駅着。

そのまま帰るのももったいないので、ちょうど前日から始まったという
「菊人形展」<https://www.nihonmatsu-kanko.jp/?p=4879>
を見に行くことにした。
タクシーで会場へ。



13:25 菊人形展会場の霞ヶ城公園着。



今年の菊人形展のテーマは
「竹取物語～かぐや姫から始まる日本昔話の世界～」



会場の休憩所で遅い昼食を摂り、ひととおり菊人形の数々を見た後、近くの二本松市歴史観光施設

「にほんまつ城報館」<https://www.nihonmatsu-kanko.jp/?p=7676>

もざっと見て、再びタクシーで二本松駅に戻り、

二本松 15:02 = 東北本線 = 15:26 郡山 15:37 = 新幹線なすの 278 号 = 16:51 大宮
で帰りました。

栗駒山・安達太良山の紅葉は残念ながら今回も狙い通りにはいかず、また来年に夢を託すことになりました。
挑戦は続く・・・・ お疲れさまでした。